

# 「水辺」への招待展

～なつやすみ「荒川」上流から河口のいきもの～

## 特別イベント開催

7/24 (日) ~ 8/6 (土)  
9:00 ~ 21:00 (最終日は 15:00 まで)

地域の川「荒川」に住む水辺の生物やその生態系を紹介する展示会です。

江東区の東側を流れる荒川は、奥秩父を源とする流路延長 17.3 km の一級河川に指定されています。生態系は、海水・汽水域から淡水域まで幅広く、様々な生き物が生息しています。

今回の展示では、荒川の上流から河口にかけて生息する魚類や甲殻類等を写真パネルや飼育水槽にて展示します。

夏休みの自由研究の参考にぜひご覧ください。

7/24 (日)

### ①見て・さわって・学ぶ荒川の水辺のいきもの学習会

室内で行います。  
【時間】10:30 ~ 11:30 【場所】1階ロビー

### ②水辺ワークショップ

・ウニのミニランプ  
・ヒトデや貝のアクセサリ  
【時間】13:00 ~ 16:00 【場所】1階ロビー

【対象】①②ともに小学生~中学生  
※小学3年生以下は 保護者同伴  
【講師】寺田浩之 (KOKOPELLI+ 代表)  
【参加費】①無料 ②500円~1,000円  
【申込み】7/10(日)~電話にて(3681-6331)  
先着順で受付①②各20名



## 東大島七夕飾り

6/29 (水) ~ 7/8 (金)  
9:00 ~ 21:00 (7/4 [月] は休館日)

地域のこどもたちの成長を願って、ロビーに大きな七夕飾りを展示します。短冊に願い事を書いて飾りませんか? (短冊配付はなくなり次第終了です。)

※「季節の展示」は1階ロビーにて無料でご覧いただけます。

団体戦 10/8 (土)	個人戦 10/9 (日)	<p>予告</p> <p>江東区 囲碁大会</p>
<p>今年も開催します! 都内では最大規模の「江東区囲碁大会」。詳しくは、「カルチャーナビKOTO8月号」、東大島文化センターHPに掲載します。</p>		

公益財団法人  
江東区文化コミュニティ財団  
東大島文化センター

電話 03(3681)6331  
FAX 03(3636)5825

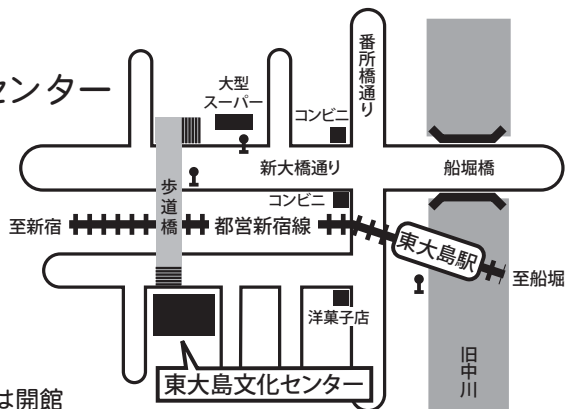
〒136-0072  
江東区大島 8-33-9

【交通】都営新宿線「東大島駅」

大島口より徒歩5分

【休館日】第1・3月曜日休館

ただし国民の休日にあたる場合は開館



# 東大島文化センター 6 June



- ① 第28回ふれあいまつり
- ② コラム・施設紹介
- ③ 連載「ぶらり小名木川」
- ④ 展示・イベントのご案内

## みんなで楽しめる夏まつり

### FUREAI MATSURI

# ふれあいまつり

8/21 Sun.



一日体験教室、スタンプラリー、もぎ店、ロビーイベントなど一日中楽しめるおまつりです。  
夏休みの思い出作りにみなさんぜひ遊びにきてください。

### ホールイベント

- ★善ちゃんの笑ってタメになるサイエンスショー
- ★ミニプラネタリウム ~星空の宅配便~



善ちゃん

### 一日体験教室

- ★親子でトライ! アフリカの楽器カリンバを竹で作ろう!
- ★ラクほりで消しゴムスタンプ体験
- ★手作り自分だけのキャンドルを作ろう!
- ★東工大 Science Techno による出張教室 他



カリンバ見本

※イベントによっては事前申込み(先着順)と参加費が必要な場合がございます。詳細は7/10発行「カルチャーナビKOTO」、HPをご覧ください。

### ふれあいまつりプレイイベント(要申込)

## 親子で楽しむスライド・ミュージカル 長ぐつをはいたねこ

8/20 Sta. 11:00 ~ 11:40 レクホール

- ★入場無料
- ★0歳からOK
- ★ベビーカーOK

歌ありおはなしあり楽しいよ!

Q:「スライド・ミュージカル」って何?



出演:キッチン・ワルツ

A:スクリーンに映し出されたスライド画像と、グランドピアノの生演奏や歌・おはなしで上映するミュージカルです!  
パパもママもみんな楽しんでます!

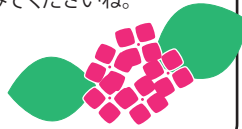
## 様々な生物と遭遇する季節

新緑の季節となり、旧中川周辺も緑が一番美しい季節となりました。一年で最も多くの生物が姿を見せる季節ですので、せっかくですから少しでも多くの生き物と出会いたいですね。では、この時期にはどのような生き物に出会えるのでしょうか。

まず、確実に見られるのが水面ギリギリを飛ぶツバメの姿、群れで泳ぐ銀色のボラの幼魚たち、底にじっとしているマハゼの幼魚です。これらはこの時期の旧中川の風景の一部となっています。

この他にも河原を歩いていると、白くて少しだけ黒い模様が入った尾を上下に振りながら歩く可愛らしい鳥に出会うことができます。これはハウセキレイといって、水辺によく現れエサを探しています。またカワウが潜りながら魚を追いか回り、魚をくわえて水面に姿をあらわす瞬間もよく見ることができます。

こうした通常よく見られる生き物の他に、条件が重なる事で見られる変わった生き物もいます。梅雨が近づき、雨が降ると良く姿を見せるのがカエルです。この辺りに多いのは、「アズマヒキガエル」というヒキガエルです。雨の日の人通りの少ない河川敷を大きな体でゆっくりと歩いている姿を見ることができます。ミズミズなどのエサを食べに来ているのかもしれませんが。



KOKOPELLI+ 代表 寺田浩之

この他に、緑色をした小さな「アマガエル」が稀に見られる事があります。体の割に大きな声で「クエックエックエック・・・」と鳴くので、声だけ聞かせる事もあります。また、雨の日や夜間は「ドブネズミ」も姿を見せません。こうした生物が集まるとそれを狙ってヘビも姿を見せません。1mほどの大きな体をしながら、毒はなく性格も穏やかな「アオダイショウ」です。このヘビは主にネズミや鳥のヒナなど体が暖かいものを好んで食べますが、カエルも食べます。水辺には餌を求めほか、体を温めるため日光浴をするために姿をみせます。また、少数ですが「ハクビシン」というネコくらの大きさのほ乳類も姿を見せません。顔がネコよりも尖っていますのでシルエットでも判別できます。これは夜行性でほぼ夜しか現れませんので、なかなか目につきません。

今の旧中川は、ここでは紹介しきれないほどたくさん生き物が集まっています。自然観察には最適な季節ですので、日焼けや熱中症の対策をしっかりして、ぜひ河原に足を運んでみてくださいね。



## 小名木川リバーガイド倶楽部 会員 伊藤 博

しゅったつ やたて

### 『おくのほそ道』 出立 / 矢立初めの地を訪ねて

今年は、芭蕉さんがおくのほそ道へ出立（元禄2年、1689年）して327年にあたる。

自然に親しんだ、芭蕉さんが生きていたら、先の東北・太平洋沿岸を襲った想像を絶する程の津波・大地震を始め、昨今の熊本県を中心とした頻発大地震など、何んと受け止めるだろうか、気になるところである。

みちのくの旅に憧れ、旅立ったと言われている5月16日を前にして出立の地、江東区常盤一丁目に在る芭蕉記念館や芭蕉庵史跡展望庭園などに、訪れる人が津波・大地震以後、多いようだ。以前であれば、五月の連休ともなれば、栃木、福島、宮城、岩手、山形辺りを、芭蕉ファンが訪ね歩き賑わったそうだが、この世界にも津波・大地震の影響が、顕著に表れているようだ。近場でしかも安全で安心な処、深川／千住辺りで思いを馳せようとするのか、兎に角、何時になく訪れる客で賑わっているような気がする。筆者もその一人、津波・大地震発生以後、五月の連休ともなれば定まって、芭蕉を忍び「深川から千住」を訪れているが、確かに異変が起きている様な気がする。また、特別に興を覚えていたのは、芭蕉庵史跡展望庭園に立つ芭蕉像である。階段を上りきると芭蕉が、[いらっしゃいませ] とばかりに出迎えてくれる。夕方の5時ともなると、何故か90度回転して、西を向き隅田川を見守るようになっている。何故に90度回転する像になったのか、不思議でならなかった。

1989年が『おくのほそ道』へ旅立ち300周年だった理由からか、その頃に、各地で色々な芭蕉像が建てられたそうだ。千住では、昨年(平成27年)3月、「奥の細道千住あらかわサミット」が開催された。これを記念してか、JR・南千住駅前に矢立初めの地、千住として、細身な矢立初めの松尾芭蕉像が立つ。そして、訪れる人達に、何時でも、心温まる眼差しで迎えてくれる。深川においても、出立の地として、色々な計画(案)があったそうだ。木造の芭蕉像、大きなカエル像など、色々な構想があったらしい。が、いずれも断念したそうだ。日本中で、唯一の像であらねば等と思案の末、回転する芭蕉像になったそう。この芭蕉像であるが、昼は訪れるファンを暖かく出迎え、夜は隅田川を上り下りする船や、船員さんの安全を祈り、毎日、休む暇もなく働く芭蕉像だ。

閑ある生き方を好しとした芭蕉さん。思いとは裏腹に、忙しさを良しと歓迎しているのは、地元自治体や、団体の関係者方々なのかも知れない。



白鷺画・深齋貞「こゝろ誰」句芭蕉坐像 江東区芭蕉記念館所蔵



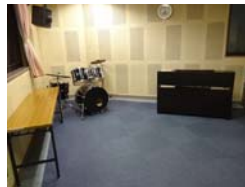
深川・史跡展望庭園に立つ芭蕉像 『草の戸も住み替わる代ぞ雛の家』



千住・矢立初めの地 松尾芭蕉像 『行く春や鳥啼き魚の目は泪』

## 東大島文化センター 施設紹介 part 4

### 音楽スタジオ



▲ 室内の様子

東大島文化センターの別棟の1階にあるのが音楽スタジオです。広さは約40㎡で、定員12名の施設です。もちろん防音壁なので、お隣を気にせず楽器練習ができます。また、貸出時間も2時間単位ですので施設利用料金も他の施設よりお手頃価格になっています。

右表の通り、貸出器材も各種ご用意していますので、気軽にご利用いただけます。

東大島文化センター施設紹介は今回で終了です。皆さまのご利用をお待ちしています。

貸出時間区分	① 9～11時
	② 11～13時
	③ 13～15時
	④ 15～17時
	⑤ 17～19時
	⑥ 19～21時
2時間につき 950円	

主な貸出器材	ギターアンプ	200円
	ベースアンプ	200円
	電子ピアノ	400円
	ドラムセット	400円
	PAユニット	400円
	譜面台	100円
	マイク	100円
	いずれも2時間につき	